

# ミットヨ計測学院出張講座「測定工具の定期検査」のご案内

「加工と測定」は車の両輪のようなもので、加工設備や技術への配慮はもちろんのこと、測定具の管理が大変重要です。またISO9000による品質システムが普及し、要求事項に適合した定期検査の実践が求められています。

(公財)さかきテクノセンターでは、昨年度のさかきテクノセンター見直し検討委員会での議論を踏まえ、今年度から「技術」に着目した事務事業の試行に取り組んでおり、今回、株式会社ミットヨ計測学院の共催により、「測定工具の定期検査講座」を開催します。

内容的にはミットヨ計測学院の講座と同等で、基本的には、受講者1名に1台の実機を準備しての実習がメインとなり、定期検査など担当者の育成に役立つものと考えます。

皆様のご参加をお待ちしています。

1. 期 日 平成28年12月13日(火)、14日(水) 2日間  
9:30~16:30
2. 会 場 さかきテクノセンター 坂城町大字南条4861-35  
(しなの鉄道 テクノさかき駅下車)

### 3. 日程及び内容

	9:30	12:00	13:00	16:30
第1日	開 講 計測管理と定期検査の準備 ブロックゲージの取扱い	昼 食	測定工具の検査実習 ・マイクロメータ (デジタル式含む)	
第2日	測定工具の検査実習 (続き) ・ダイヤルゲージ (てこ式ダイヤルゲージ)	昼 食	測定工具の検査実習 (続き) ・ノギス (デジタル式含む) ・ハイトゲージ	閉 講

※各社での社内教育ご担当者育成にも適しています。

※講座終了時に「修講証」を発行します。

研修履歴の添付資料としてお使いください。

4. 持 ち 物 筆記用具程度  
(測定工具、検査用具などは準備をします)

5. 講 師 株式会社ミットヨ ミットヨ計測学院  
専任講師 畝 修 造 氏



(ダイヤルゲージの検査)

6. 参加対象者 概ね実務経験2年以上の測定工具に関する基本技術を  
会得している方を対象としています。社内での定期検  
査業務などご担当者の育成にご活用ください。  
(マイクロメータ・ノギスの目盛が読める程度の技能を希望します)
7. 定 員 16名。定員を越えたお申込みがあった場合は、多数の企業様が参加できる  
ように参加人数について調整させていただきます。
8. 受 講 料 24,000円(2日間の昼食を含みます)
9. 主 催 公益財団法人さかきテクノセンター
10. 共 催 株式会社ミットヨ ミットヨ計測学院
11. 申込方法 別添 申込書にご記入のうえ平成28年11月30日までにFAXにて申込み  
ください。なお、受講当日に、受講料24,000円と申込書の原本(署名入)  
をご持参ください。
12. 問合せ先 公益財団法人さかきテクノセンター TEL0268-82-0001  
FAX0268-82-0002

# 測定工具の定期検査講座 参加申込書

公益財団法人さかきテクノセンター あて  
FAX 0268-82-0002

下記の者の参加を申込みます。

企 業 名			
所 在 地		住 所： T E L： F A X： 担当者（申込者）氏名：	
参 加 者	所 属	役 職	氏 名

※ 本申込みの個人情報、当講習会の参加登録する他、主催・共催者からのご案内に用いるもので、他への用途へは一切使用しません。

## ■講習受講の方へ

※ 本講座は、居住者（注1）の方のみ受講していただくようにしています。

※ 講師をお願いしました企業との関係で以下の確認を自筆でお願いします。

○（注1）居住者とは、「日本国内に住所又は居所を有する人（海外事業所に勤務されている方は除く）及び、日本国内にある事業所に勤務する人」をいいます。

○当講座で受講者様に提供させていただく技術資料は、外為令別表の16項に掲げる技術に該当しますので、日本国非居住者へ提供する際は、同項に掲げる仕向け地域およびキャッチオール規制の要件によっては、経済産業大臣の許可が必要な場合があります。

従いまして、講座の内容を日本国非居住者へ提供する際は、以上の点にご留意ください。

※ 受講される方が必ず記入してください。

私は、上記の文章を確認しました居住者です。

年 月 日

御 社 名： \_\_\_\_\_ 受 講 者 名： \_\_\_\_\_